

科目名	リハビリテーション概論演習【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 宏・溝 田 勝 彦						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	リハビリテーションに関する基本的な知識やチームワークの重要性、リハビリテーション医療従事者としての資質・適性、また関連職種の特長性についての理解を深めるため、グループでの演習を主体として学習する。グループ演習では治療者・対象者を模擬的に体験し、治療者としての知識と感性を養っていく。						
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 起居動作やトランスファーの介助に関する基本的知識を理解できる。 2. 模擬対象者に対する配慮、適切な説明、声かけを実施できる。 3. 模擬対象者に対し、具体的な介助法を実施できる。 4. 具体的な介助を通して、治療者として安全で効率的な姿勢・構えを身につけることができる。 5. 保健医療福祉領域の専門職であるリハビリテーション医療従事者の資質・適性について理解できる。 6. 保健医療福祉チームの他専門職への理解に必要なコミュニケーションの役割について理解できる。 7. 対象者やチーム成員である他専門職とのコミュニケーションに必要な能力について理解できる。 8. 自らのコミュニケーション能力を自覚し、スキルアップについて考えることができる。 						
学 習 方 法	グループでの演習を通して治療者・対象者を模擬的に体験することで、治療者としての基本的知識と態度を身につける。						
テキスト及 び参考書等	配布資料						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○					70
授業態度	○		◎				20
受講者の発表							
授業への参加度					○		10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	1. 基本動作						
第 2 週	2. 車椅子の基本知識と介助法						
第 3 週	3. 車椅子 ⇄ ベッド のトランスファー						
第 4 週	4. 歩行補助具の基本知識と操作性						
第 5 週	5. 全介助によるトランスファー (1) 床上移動						
第 6 週	6. 全介助によるトランスファー (2) 背臥位～端坐位						
第 7 週	7. 全介助によるトランスファー (3) 坐位～立位						
第 8 週	8. 保健医療福祉領域の専門職であるリハビリテーション医療従事者の資質・適正						
第 9 週	9. 保健医療福祉チームの他専門職への理解に必要なコミュニケーションの役割						
第 10 週	10. 対象者やチーム成員である他専門職とのコミュニケーションに必要な能力						
第 11 週	11. コミュニケーション能力とは						
第 12 週	12. コミュニケーション能力チェック						
第 13 週	13. 効果的コミュニケーション (1)						
第 14 週	14. 効果的コミュニケーション (2)						
第 15 週	15. 復習とまとめ						
第 16 週							
備 考	積極的に演習に参加してください。講義前には、教科書等に目を通すなど事前準備をしておいてください。講義後には、講義内容の振り返りなどの復習もするようにしてください。						